

## 人・環境と物質をつなぐイノベーション創出ダイナミック・アライアンス 新規「横串サブグループ」募集のご案内

「人・環境と物質をつなぐイノベーション創出ダイナミックアライアンス」では、G1, G2, G3 グループを跨いだ共同研究を促進するために、現在二つの横串サブグループ((a)量子ビームによる物質・物性評価横串サブグループ、および(b)時間分解物質・物性評価横串サブグループ)が活動を行っています。

本年度はこれに加え、新たな「横串サブグループ」を募集致します。

### 【サブグループの位置づけおよび要件】

現在、ダイナミック・アライアンスでは、G1(エレクトロニクス 物質・デバイス)、G2(環境エネルギー 物質・デバイス・プロセス)、G3(生命機能 物質・デバイス・システム)の3グループを組織して実行的な研究を実施しています。今回、これら3グループを横断的に繋ぐグループとして新規の「横串サブグループ」を公募により組織することで、G1, G2, G3 グループを跨いだ新たな共同研究、特に分野横断型の共同研究を開拓し、アライアンス活動を更に活性化することを目的としています。

横串サブグループのメンバーとなった場合、所属する G1, G2, G3 グループ以外の分科会等に出席し、各グループや各自の研究内容に関して説明や宣伝するための発表を行う機会が設けられます。こうした活動により、G1, G2, G3 グループを跨いだ共同研究の立案や実施へ向けた機会を設け、ダイナミック・アライアンス活動の更なる促進を図ります(横串活動: 下図参照)。

この横串サブグループの研究分野は問いませんが、以下の要件が望まれます。

- ・ G1, G2, G3 複数のグループメンバーを含むグループ構成であることを必須条件とする。参加メンバーの所属研究所のバランス(複数の所属研究所メンバー構成)についても考慮が望ましい。
- ・ メンバーとして拠点利用者の参画、若手研究者、海外研究者の参加も歓迎する。
- ・ 横串サブグループの活動内容: 研究会の実施、G1, G2, G3 グループ分科会への参加、拠点・アライアンス行事(報告会など)における活動・研究内容発表、大型研究資金獲得、など。既存サブグループ等との連携も歓迎する。



## 【支援内容】

新規横串サブグループには、アライアンス中央経費より本年度の活動経費を支援します。

内容:

新規サブグループ立ち上げに伴う研究会等(準備会議・キックオフ会議など)への旅費などの支援

経費:10~15万円/件程度(但し、予算状況によります)

採択件数:2件(最大)

なお、設置された新規横串サブグループの活動等については、コア連携センター会議およびアライアンスコーディネーターなどによる助言・支援を行います。

設置された横串サブグループの活動は、原則次年度(2020年度)継続となり、その際の経費支援も予定されます。

## 【応募方法】

応募方法は次のとおりです。

(1)応募方法:

新規横串サブグループの設置を希望する方は別紙申請書に、①サブグループ名(〇〇〇〇横串サブグループ)、②代表者名(世話役:サブグループリーダー)、③メンバーリスト、④研究活動の概要と計画、⑤期待される成果 を記載の上、メール添付にて応募下さい。

(2)応募先: アライアンス事業本部 宛てメールにて応募下さい。

NJRC \* sanken.osaka-u.ac.jp (\*を@に置き換えて下さい)

大阪大学産業科学研究所

〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘 8-1

TEL:06-6879-4300 FAX:06-6879-8509

(3)募集締切: 2019年10月31日(木曜日)正午(予定)

## 【採否の決定】

応募頂いた内容に基づき、コア連携センター会議での採否審議を行い、アライアンス運営委員会の承認を経て、新規横串サブグループとしての設置を決定致します。採否の結果は速やかに申請者へ連絡します。

なお、類似の研究内容や方向性のサブグループ応募の場合、コア連携センター会議より、グループのマージなどを含む調整依頼を行う場合もあります。

## 【問い合わせ先】

コア連携センター会議議長

関野 徹 (産業科学研究所)・sekino\*sanken.osaka-u.ac.jp

アライアンスコーディネーター

朝日 一 (産業科学研究所)・asahi\*sanken.osaka-u.ac.jp

(\*を@に置き換えて下さい)

コア連携センター会議委員

居城 邦治・太田 裕道 (電子研)、垣花 真人・高橋 正彦・中川 勝 (多元研)、

藤井 正明・西山 伸宏 (化生研)、田中 秀和 (産研)、横山 士吉・柳田 剛 (先導研)

## 【参考】

<https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/Projects/Nano-MacroAlliance/crossact/>

以上